

本殿幕・境内幟新調

昨年七月の例祭にあわせて、新たな令和の御代を奉祝し記念事業として本殿幕と境内の幟を新調しました。

本殿幕は深志神社総代・元総代四十四名の有志の方々より御奉賛を頂きました。

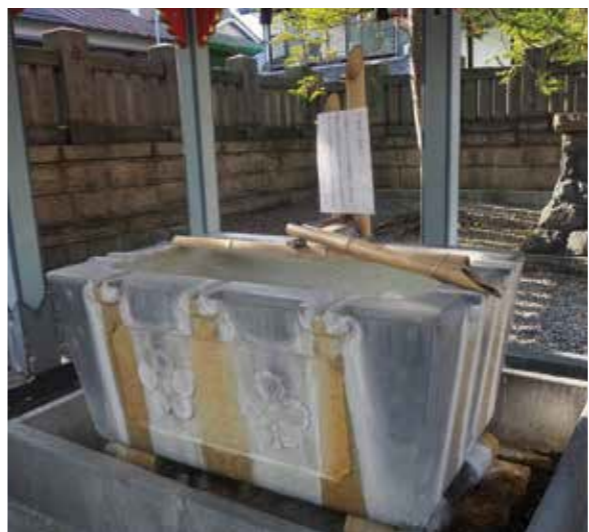
幟は南参道に掲げるものと正面参道入口近くに掲げるものの二対を新調し、南参道は長澤中の氏子町会(長沢町・常磐町・栄町・梅ヶ枝町・東長沢町・幸町・錦町)より御奉賛を頂きました。正面参道口は長澤中七町会以外の氏子町会より御奉賛を頂き染め直しをしました。改めて御礼を申し上げます。

なお、長澤中の氏子町会奉納幟には日本書紀から選ばれた「周祀山川」・「幽通乾坤」(天地の季節が順調に巡り、平穏な世の中が続きますようにという意)を蟻ヶ崎高校書道部顧問の大沢一仁(逸山)氏が揮毫されました。また正面参道入口の幟は「一國報官村之神功」・「萬世仰菅公之威徳」とあり、江戸後期の儒学者・書道家として著名な亀田鵬斎が文政元年(一八一八)に揮毫し、昭和四十一年に再調されています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み

当社においては、この度の新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みとして、皆様が安全にご参拝いただけますよう、拝殿前の鈴緒の使用中止、手水の柄杓撤去、アルコール消毒等の対策を行っております。また、御祈祷等の昇殿参拝につきましても受付からお帰りまで「密」や感染リスクを避ける対策をとっております。

ご参拝の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが何卒宜しくお願い致します。また、去る三月二十五日には祈年祭に併せて御神前において新型コロナウイルス早期終息祈願祭を執り行い、大神様に一日も早く平穏な日々が戻りますよう御祈願致しました。



新任職員紹介



権禰宜 保尊 俊典
この度、出仕として二年間奉仕のち深志神社権禰宜を拜命致しました。正式に神職としての第一歩を踏み出す事が出来、嬉しく思っております。未熟者では御座いますが、経験豊かな先輩神職並びに氏子総代の皆様の御指導を仰ぎながら一層の神明奉仕に邁進して参ります。御指導御鞭撻の程、宜しくお願い致します。



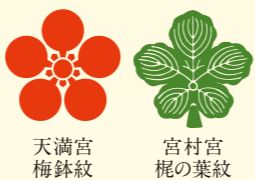
巫女 上野 亜美
この度深志神社に巫女として奉職致しました。幼少期より関心が深かった神道を身近に感じる事ができとても嬉しく思っております。長い歴史を持つ深志神社の伝統を守り、巫女としての職務を精一杯務めて参ります。宜しくお願致します。

ふかし 深志神社社報 第23号

発行日 令和2年(2020)6月25日
発行所 深志神社社務所
〒390-0815
松本市深志3丁目7番43号
電話 0263-32-1214
FAX 0263-32-5908
http://www.fukashi-tenjin.or.jp

印刷 (株)日本広告

(2,000部)



ふかし

深志神社社報

第23号

令和2年夏号

深志神社は信州松本城下
南深志の地四十八ヶ町
氏子の守り神さまです



南参道幟



天満宮本殿幕



宮村宮本殿幕



正面参道幟



深志神社の神さまが、年に一度、町内を巡られます。どうぞお迎えください。

令和2年 深志神社例大祭(天神祭り)

御神幸式 神輿渡御巡路

7月25日(土) 午後1時30分～5時

自動車による神輿渡御巡路は西(鎌田)先回りと東(清水)先回りとが隔年となります。
 本年は東(清水)先回りです。



【前夜祭】7月24日(金)
 19:00～ 前夜祭神事
 【例大祭】7月25日(土)
 11:00～ 例大祭神事
 14:00～17:30 御神輿御巡行



もうすぐ天神祭りです

本年の例大祭である天神祭りは新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に規模を縮小して二十四日宵祭は神事のみ、二十五日日本祭は神事と車載での神輿渡御を斎行致します。神輿行事や舞台の曳きだし、露店はありません。
 例年の賑わいはありませんが、こんな時こそ年に一度の例大祭にご参拝頂き大神様に平穏な日々に戻ることを祈っていただきたく存じます。皆さま「密」を避けての御参拝をお待ちしております。



八坂祭でお子様の健やかな成長をお祈りしましょう

八坂神社は通称「八坂さま」と親しみを込めて呼ばれています。ご祭神は須佐之男命(すさのおのみこと)で、全国に広くお祀りされています。
 当社にお祀りされた由来は今からおおよそ三百年前に松本地方で大きな疫病が流行した為、疫病除けの神様として愛知県の津島神社より御分霊を頂き祀りました。
 昨今の新型コロナウイルスの早期終息とお子様病弱にかかることなく健やかなご成長を祈ります。

願ひいただき、五色の織に「奉納大明神」と浄書しご奉納下さい。
 なお浄書は神社でも出来ませんが「密」を避ける為なるべく各ご家庭で浄書し御奉納いただきますよう、お願い致します。殿と五色織は神社でも用意しております。なお、神社としては十分に感染防止策を講じて斎行致します。
 (浄書例)
奉納 八坂大明神
 ○(妻)の年生 ○歳(女男)【氏名】



お神輿をお迎えしましょう
 ◆一年に一度のご神幸では、氏子の平安をつねにお守りくださる氏神様が、氏子地域を巡り、皆様の生活をご覧になると共に、氏子の方々か神様を身近にお迎えし、感謝の祈りを捧げます。

【お注連についてお願い】
 町内に張られた注連縄を取り外すのはお神輿が通られた後とさせていただきます。

注連縄張のお願い
 本年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、天神祭の規模を縮小して斎行致しますが、神事・車載での神輿渡御は行います。
 氏子町内におきましても例年通り注連縄を張っていただき大神様をお迎えいただきますよう、お願い申し上げます。

新しい授与品のご紹介
 令和の御代を奉祝し作成しました。白の織りに赤い水引が目を引きまます。「福授」の名の通り、日常に多くの福をもたらす御守です。
 心と心、縁と縁とを「むすび御守」
 「むすび御守」
 心と心、縁と縁とを「むすび御守」です。ちりめんをイメージした織りに、梅鉢紋をデザインしました。「むすび」の名の通り、幸多く素敵な御縁がありますように願う御守です。

新型コロナウイルス 早期終息を祈願する神棚拝詞をお配りしています。

各家庭の神棚の御前において早期終息を祈願する神棚拝詞が神道青年全国協議会「若手の神主の念により作成され、全国の神社に配られました。当神社においても拝殿前にてお持ちいただけますよう準備してありますので、参拝の際にはお持ち頂ければと思います。

